

**KAWAI****2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

2020年8月6日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所
 コード番号 7952 URL https://www.kawai.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 照幸
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

TEL 053-457-1227

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,817	△33.6	△584	—	△539	—	△1,487	—
2020年3月期第1四半期	17,803	2.0	650	3.9	640	△4.8	349	2.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,921百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 144百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△173.01	—
2020年3月期第1四半期	40.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	55,617	23,323	41.8
2020年3月期	51,758	25,717	49.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 23,227百万円 2020年3月期 25,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,800	△26.4	△650	—	△650	—	△1,750	—	△203.61
通期	63,000	△11.6	700	△76.4	700	△77.6	△850	—	△98.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月13日公表の決算短信においては新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしました。添付資料「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	9,011,560株	2020年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	416,495株	2020年3月期	416,474株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	8,595,072株	2020年3月期1Q	8,557,533株

※当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship）」を導入しておりましたが、2019年11月29日をもって終了しております。なお、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりました。（2020年3月期1Q 37,567株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で急速に悪化しました。個人消費は、感染拡大防止による休業要請や外出自粛の影響などから急速に落ち込んだ後、緊急事態宣言の解除により早期の社会経済の正常化に向けて動き始めているものの、今後の回復に向けては感染拡大の第2波発生が懸念されております。また、世界経済は新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、各国で休業命令や外出規制等が行われ、今後も極めて景気の厳しい状況が続くことが予想されます。

当社グループでも、新型コロナウイルス感染拡大による営業自粛に伴い、主力のピアノ販売の減少、教室のレッスン休講やイベントの中止など影響が出ました。

このような経営環境のもと、当社のマザー工場である竜洋工場の竣工40周年を記念したグランドピアノ『GL-10SE』を6月に発売いたしました。『GL-10SE』は上位機種に採用されている装備を加え、クラスを超えた伸びやかな響きと演奏性に優れたタッチを実現する、ハイスpekクなピアノになっております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,817百万円（前年同期比5,986百万円減）、営業損失につきましては584百万円（前年同期は営業利益650百万円）となり、経常損失は539百万円（前年同期は経常利益640百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,487百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益349百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、欧州でのデジタルピアノの販売は増加となりましたが、円高による為替影響や、新型コロナウイルス感染拡大に伴い国内の音楽教室や体育教室のレッスン休講やイベント中止を余儀なくされたことなどにより、売上高は9,156百万円（前年同期比4,837百万円減）となり、営業損失は690百万円（前年同期は営業利益358百万円）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、新型コロナウイルス感染症による供給先の生産調整により半導体関連部品や自動車内装部品の受注が減少したことなどにより、売上高は1,909百万円（前年同期比728百万円減）となり、営業利益は160百万円（前年同期比163百万円減益）となりました。

(その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器販売の受託減少などにより、売上高は751百万円（前年同期比420百万円減）となり、営業損失は26百万円（前年同期比17百万円悪化）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加などにより55,617百万円（前期末比3,858百万円増）となりました。

負債合計は、未払金や長期借入金の増加などにより32,294百万円（前期末比6,252百万円増）となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失などにより23,323百万円（前期末比2,394百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしました。

楽器教育事業は、主力の鍵盤楽器の販売需要が世界的に徐々に戻りつつあり、また国内における音楽教室及び体育教室のレッスンが再開していることから、売上高は前年同期比で9%の減少となる見込みです。

素材加工事業は、自動車関連部品の一部に回復の動きが見られるものの、半導体関連部品の受注回復の目途が立たないことから、売上高は前年同期比で16%の減少となる見込みです。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,388	13,641
受取手形及び売掛金	6,471	6,174
商品及び製品	6,207	6,562
仕掛品	1,477	1,557
原材料及び貯蔵品	2,779	3,071
その他	1,992	2,533
貸倒引当金	△132	△128
流動資産合計	29,183	33,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,638	4,541
機械装置及び運搬具(純額)	2,022	1,985
土地	6,340	6,336
その他(純額)	1,048	1,084
有形固定資産合計	14,050	13,948
無形固定資産	819	767
投資その他の資産		
投資有価証券	5,619	5,401
繰延税金資産	670	668
その他	1,559	1,559
貸倒引当金	△143	△140
投資その他の資産合計	7,705	7,489
固定資産合計	22,575	22,205
資産合計	51,758	55,617
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365	4,349
短期借入金	5,294	5,580
未払法人税等	386	227
賞与引当金	905	329
製品保証引当金	111	109
その他	3,863	5,014
流動負債合計	14,927	15,611
固定負債		
長期借入金	700	6,125
環境対策引当金	30	30
退職給付に係る負債	9,267	9,387
資産除去債務	602	600
その他	514	540
固定負債合計	11,113	16,682
負債合計	26,041	32,294

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	18,262	16,302
自己株式	△963	△963
株主資本合計	25,679	23,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	402
為替換算調整勘定	△277	△555
退職給付に係る調整累計額	△339	△339
その他の包括利益累計額合計	△62	△491
非支配株主持分	100	95
純資産合計	25,717	23,323
負債純資産合計	51,758	55,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	17,803	11,817
売上原価	13,233	8,976
売上総利益	4,569	2,840
販売費及び一般管理費	3,919	3,424
営業利益又は営業損失(△)	650	△584
営業外収益		
受取利息	17	27
受取配当金	24	33
補助金収入	0	26
固定資産賃貸料	9	9
その他	13	10
営業外収益合計	64	107
営業外費用		
支払利息	11	15
寄付金	19	17
為替差損	26	20
その他	16	9
営業外費用合計	74	62
経常利益又は経常損失(△)	640	△539
特別損失		
固定資産除却損	4	13
感染症による損失	—	820
特別損失合計	4	833
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	636	△1,372
法人税等	286	116
四半期純利益又は四半期純損失(△)	349	△1,489
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	349	△1,487

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	349	△1,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△261	△151
為替換算調整勘定	44	△296
退職給付に係る調整額	14	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	15
その他の包括利益合計	△204	△431
四半期包括利益	144	△1,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143	△1,916
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の合理化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,993	2,638	16,632	1,171	17,803	—	17,803
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	133	133	111	244	△244	—
計	13,994	2,771	16,765	1,282	18,048	△244	17,803
セグメント利益 又は損失(△)	358	324	682	△8	674	△23	650

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△23百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,156	1,909	11,065	751	11,817	—	11,817
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	94	94	98	193	△193	—
計	9,156	2,004	11,160	849	12,010	△193	11,817
セグメント利益 又は損失(△)	△690	160	△530	△26	△556	△27	△584

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△27百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△31百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。